

平成28年度 学校評価のための生徒・保護者アンケート分析結果について

巨摩高校定時制

◇今年度の目標について

・学校目標・経営方針 「健康で、明るく、思いやりのある心の温かい生徒の育成」

・重点目標

- 1 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。
- 2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。
- 3 多種多様な体験学習を展開して、生徒の生きる力やコミュニケーション能力を育成する。
- 4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。

◇重点項目ごとの分析結果について

- 1 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。

<生徒>

授業のわかりやすさや工夫については昨年を上回り90%ほどが肯定的に回答しており、目標は達成されている。また、学習意欲については肯定的回答がここ数年同様70%と変わらない。肯定的ではない30%近い生徒の学習意欲を向上させたい。

<保護者>

保護者の肯定的回答も95%と昨年来10ポイント以上上回っている。生徒とのやりとりが豊かで、生徒の活動を重視した授業展開やICTを活用する取り組みが評価されているようである。

- 2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。

<生徒>

進路に関して相談しやすい、支援がしっかりしているとする肯定的回答は昨年よりも、9ポイント下がっているが、進路講話や企業見学は逆に5～11ポイント上昇している。さらに生徒にとって有益な行事を企画・実施していきたい。

<保護者>

進路指導については昨年度よりも更に高い90%ほどの肯定的評価を得ている。今年度も一部の進路的行事に保護者の参加を募ったが、今後ともこのような取り組みを継続させていきたい。

- 3 多種多様な体験学習を展開し、生徒の生きる力・コミュニケーション能力を育成する。

<生徒>

昨年度と比較して、地域学習としてのもの作りは12ポイント、総体・学園祭が2ポイント、生活体験発表が12ポイント、あいさつ・マナーが11ポイントといずれも上昇し、全体として70～80%ほどの肯定的評価となっている。生徒自身が自ら考え実践し、体験することが文字通り生徒の力につながっていると思われる。今後とも、このような機会を多く持つようにしたい。

<保護者>

今年もそれぞれ昨年度よりも10ポイント以上上昇して90%ほどの肯定的評価を受けている。体験的な学びが保護者にも支持されていることがわかる。

4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。

<生徒>

学校ブログは17回更新し、巨摩定通信は4月から毎月発行してきた。今年は翌月の行事予定表を前月終わりに更新するなど工夫したが、肯定的回答は昨年度と比較して5ポイント上昇の30%にとどまった。ブログは生徒にとって既知の情報が多いが、認知度のアップも含めて、今後も有益な情報を提供していきたい。

各HRTがそれぞれクラス通信を定期的に発行していることもあって、昨年よりも配布物が+18ポイント、学校の話は+29ポイントとかなり改善されている。

<保護者>

生徒同様、巨摩定通信・ブログが+25ポイント、学校の話が+10ポイントで、肯定的回答が90%近く評価されている。今年も閲覧回数は1万を超え、文字通り「巨摩定の今」を広く発信出来ていると自負している。今後とも開かれた学校として情報提供に努めたい。また、今年度保護者の参加を得た講話などの機会を多く設けたい。

◇本校での学校生活全般について

<生徒>

家庭で学校の話をする生徒は昨年よりも30ポイント近く上がって81%になった。学校生活について記述した生徒は昨年同様5名で否定的な意見は少なかった。本校に入学してよかったとする生徒の割合も昨年度よりも8ポイント上がって89%と、更に学校として肯定的に評価されている。

<保護者>

生徒に比べて保護者からの記述は少ないものの、肯定的なものであった。生徒が学校生活を楽しんでいると感じ、満足している保護者も8ポイント上がって、本校に入学させてよかったと、保護者からも評価されている。